五百石駅周辺施設整備基本構想

令和7年3月

立　山　町

＜目　次＞

序章　はじめに 1

1. 基本構想策定の目的 1
2. 基本構想の対象範囲 1

Ⅰ章　地区の現況整理 2

1. 地区の概況 2
2. 地区の位置づけ 15
3. 町民の意見 17

Ⅱ章　まちづくりの主要課題 18

Ⅲ章　五百石駅周辺地区の将来像 19

Ⅳ章　整備方針 20

序章　はじめに

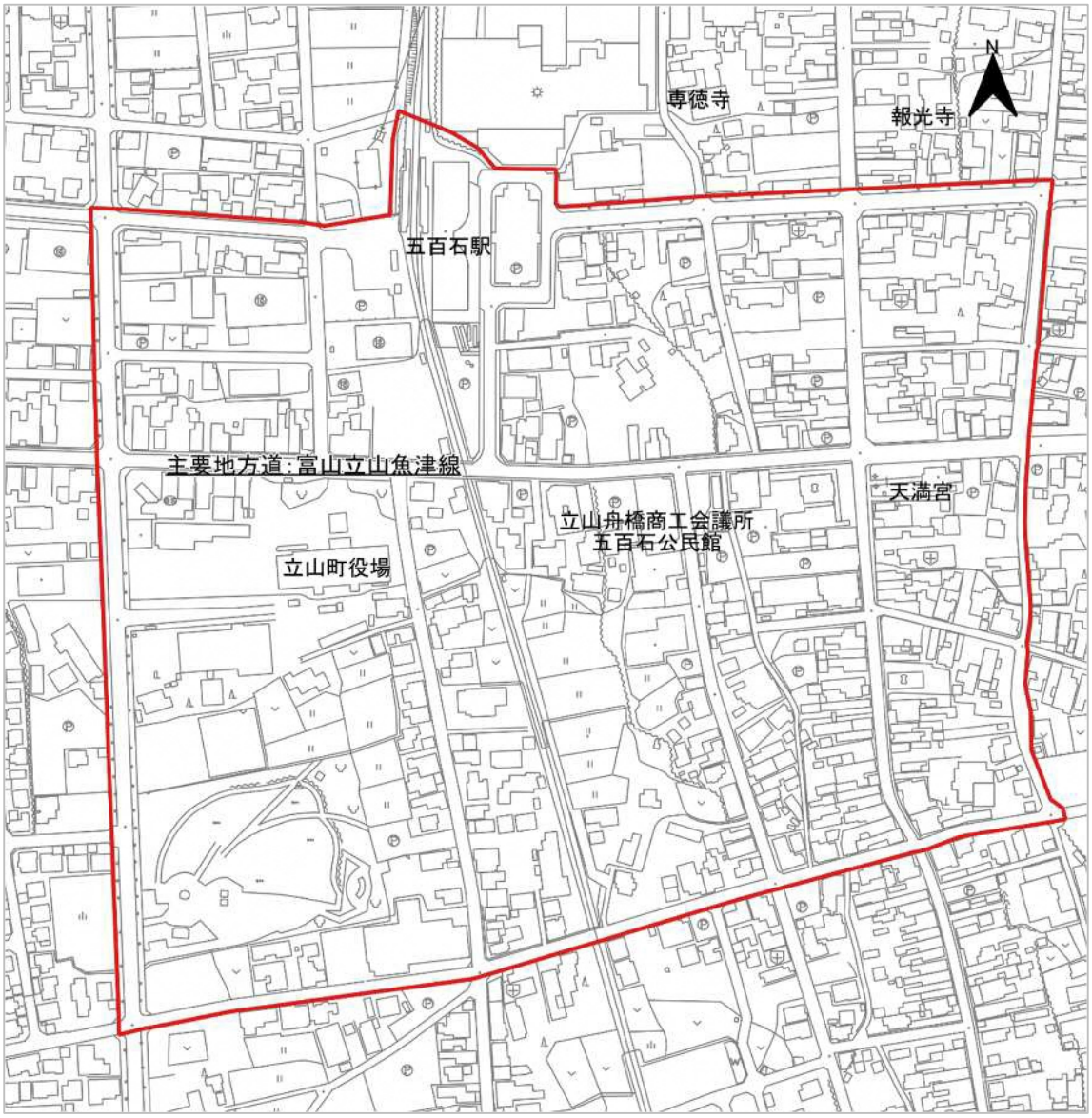
1. 基本構想策定の目的

五百石駅周辺におけるまちづくりの基本的な考え方から将来像や整備方針をまとめた整備基本構想として、「五百石駅周辺施設整備基本構想（以下「基本構想」といいます。）」を策定します。

2. 基本構想の対象範囲

基本構想では、（主）富山立山魚津線沿道の空き地及び空き家の集積エリアを含む以下を対象範囲（五百石駅周辺地区）とします。

＜基本構想の対象範囲＞



Ⅰ章　地区の現況整理

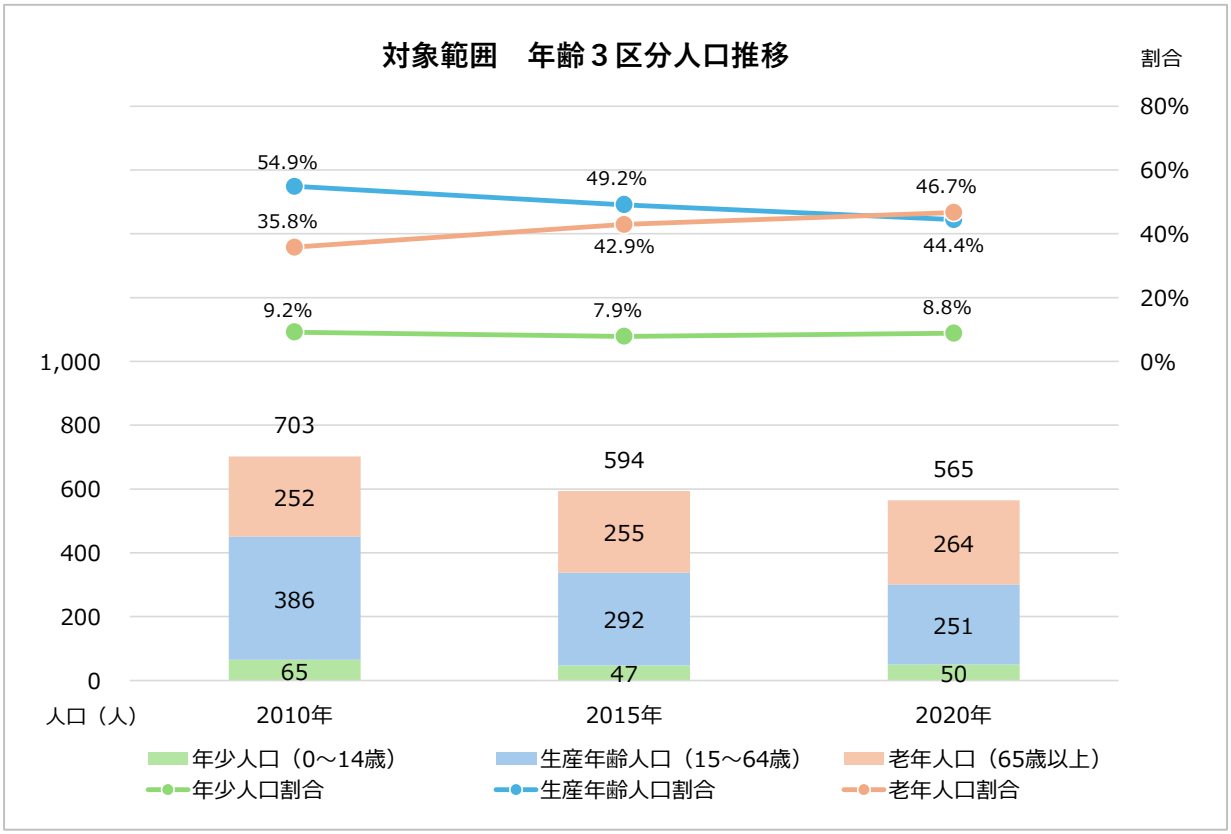
1. 地区の概況

（1）人口動態

地区内における人口の総数は、2010 年から2020年の10年間で 703 人から 565 人と 138 人減少しており、減少率は 20.0%となっています。

年齢3区分別の人口割合の推移を見ると、10年間で年少人口割合は 9.2%から 8.8%と 0.4pt 減少、生産年齢人口割合は 54.9%から 44.4%と 10.5pt 減少しています。一方で、老年人口割合は 35.8%から 46.7%と 10.9pt 増加しています。

以上のことから、本地区では人口減少及び少子高齢化が進行しています。



※地区内の 500mメッシュ人口を面積按分等により算出　　［出典：国勢調査］

（2） 関係法規制（都市計画指定状況）

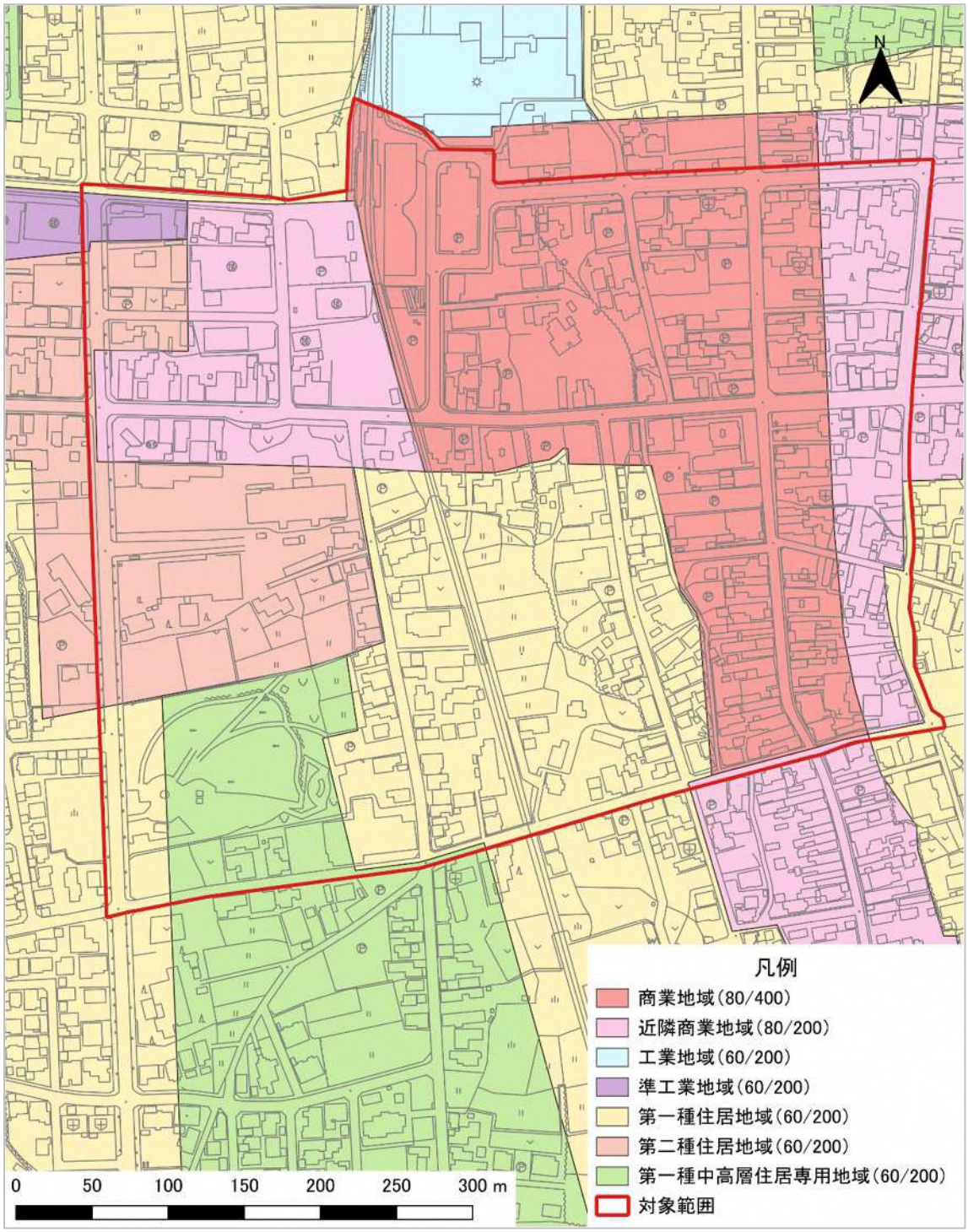
五百石駅周辺地区は商業地域、近隣商業地域を中心に、南側は第一種居住地域、第二種住居地域、第一種中高層住居専用地域等が指定されています。

＜都市計画指定状況＞

用途地域			商業地域	近隣商業地域	準工業地域
建 蔽 率			80%	80%	60%
容 積 率			400%	200%	200%
絶対高さ制限(高さの限度)			なし	なし	なし
壁面の後退距離			なし	なし	なし
斜線制限	道路斜線	適用距離	20m	20m	20m
		勾配	1.5	1.5	1.5
	隣地斜線	立上がり	31m	31m	31m
		勾配	2.5	2.5	2.5
	北側斜線制限	立上がり	なし	なし	なし
		勾配			
日影制限	対象建築物		なし	建築物高さ＞10m	建築物高さ＞10m
	平均地盤面からの高さ			4m	4m
	日影規制時間	5m＜敷地境界線からの水平距離≦10m		5 時間	5 時間
		敷地境界線からの水平距離＞10m		3 時間	3 時間

用途地域			第一種住居地域	第二種住居地域	第一種中高層住居専用地域
建 蔽 率			60%	60%	60%
容 積 率			200%	200%	200%
絶対高さ制限(高さの限度)			なし	なし	なし
壁面の後退距離			なし	なし	なし
斜線制限	道路斜線	適用距離	20m	20m	20m
		勾配	1.25	1.25	1.25
	隣地斜線	立上がり	20m	20m	20m
		勾配	1.25	1.25	1.25
	北側斜線制限	立上がり	なし	なし	10m
		勾配			1.25
日影制限	対象建築物		建築物高さ＞10m	建築物高さ＞10m	建築物高さ＞10m
	平均地盤面からの高さ		4m	4m	4m
	日影規制時間	5m＜敷地境界線からの水平距離≦10m	5 時間	5 時間	4 時間
		敷地境界線からの水平距離＞10m	3 時間	3 時間	2.5 時間

＜都市計画図＞



※凡例の（）内は、左側が建蔽率、右側が容積率を示す　　［出典：国土数値情報］

（3） 土地利用現況

①五百石周辺地区の土地利用現況

五百石駅周辺地区の土地利用現況は、住宅用地が 31.2%と最も多く、次いで道路用地が 17.9%、公益施設用地が 13.8%となっています。

また、全体の 1.8%が低未利用地となっています。

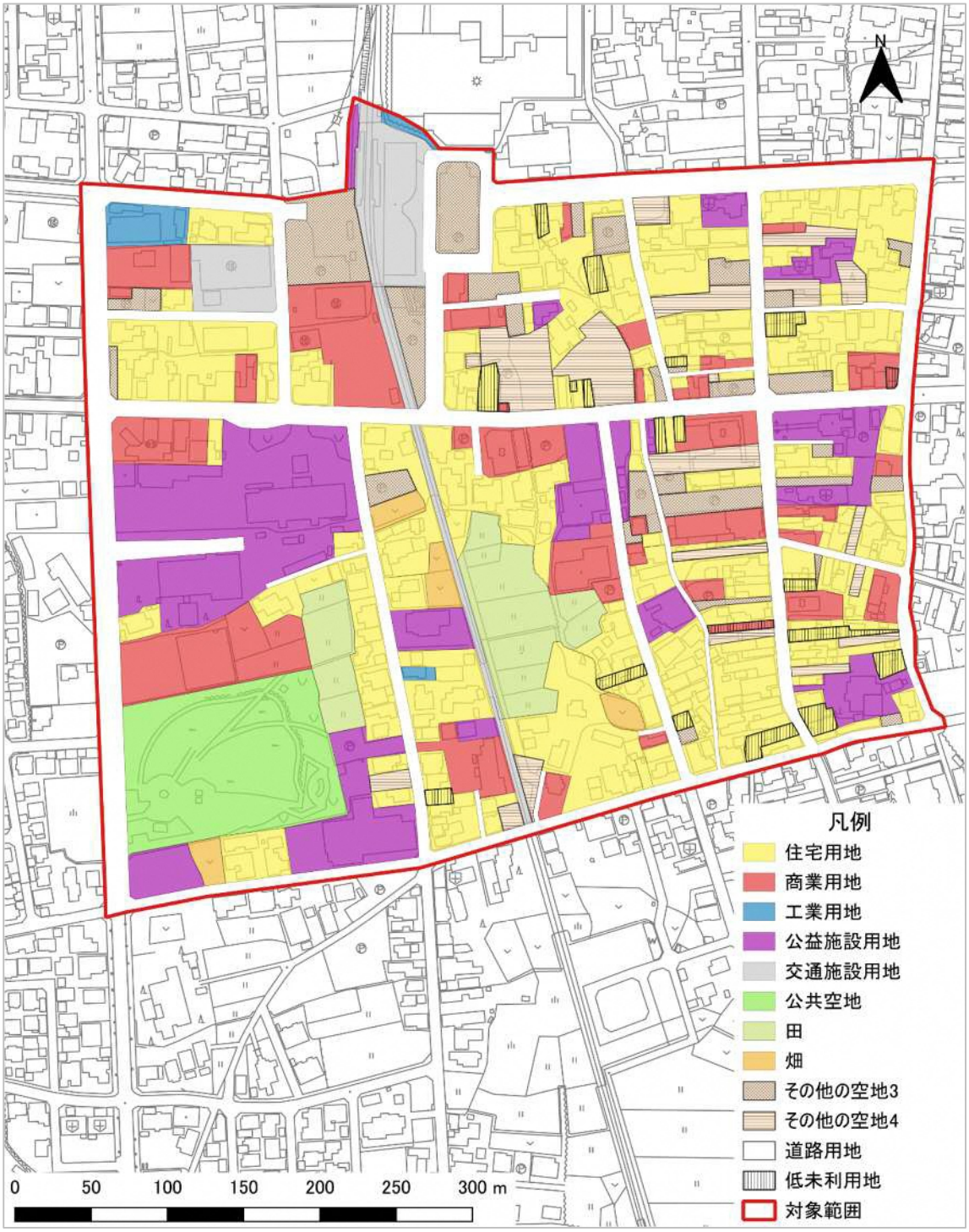
＜用途別土地利用現況＞

用　途	面積(㎡)	割　合	備　考
住宅用地	73,710	31.2%	
商業用地	27,880	11.8%	
工業用地	1,960	0.8%	
公益施設用地	33,650	13.8%	
交通施設用地	9,080	3.8%	
公共空地	13,280	5.6%	
田	9,440	4.0%	
畑	2,320	1.0%	
その他の空地3	13,320	5.6%	平面駐車場
その他の空地4	9,410	4.4%	建物跡地、資材置場、改変工事中の土地等
道路用地	42,360	17.9%	
計	236,410	100.0%	

内　低未利用地	4,270	1.8%	空き家・空き店舗の存する土地

※面積は GIS 上での計測値

＜土地利用現況図＞



［出典：令和5年立山町都市計画基礎調査より一部修正］

②空き地及び空き家の集積エリアの現況

空き地及び空き家の集積エリアは五百石駅の南東部、(主)富山立山魚津線沿いに位置しています。(主)富山立山魚津線を挟んで南側には五百石公民館があり、地鉄バス及び町営バスの停留所にも隣接しているなど、利便性の高い立地となっています。

用途地域は商業地域となっていますが、以前立地していた銭湯や病院の廃業等により、現在は空き地、空き家等の低未利用地が大きく広がっています。また、西側の敷地の中央には南北方向に水路が整備されています。

＜空き地及び空き家の集積エリアの現況図＞









（4）インフラ条件

①幅員別道路現況

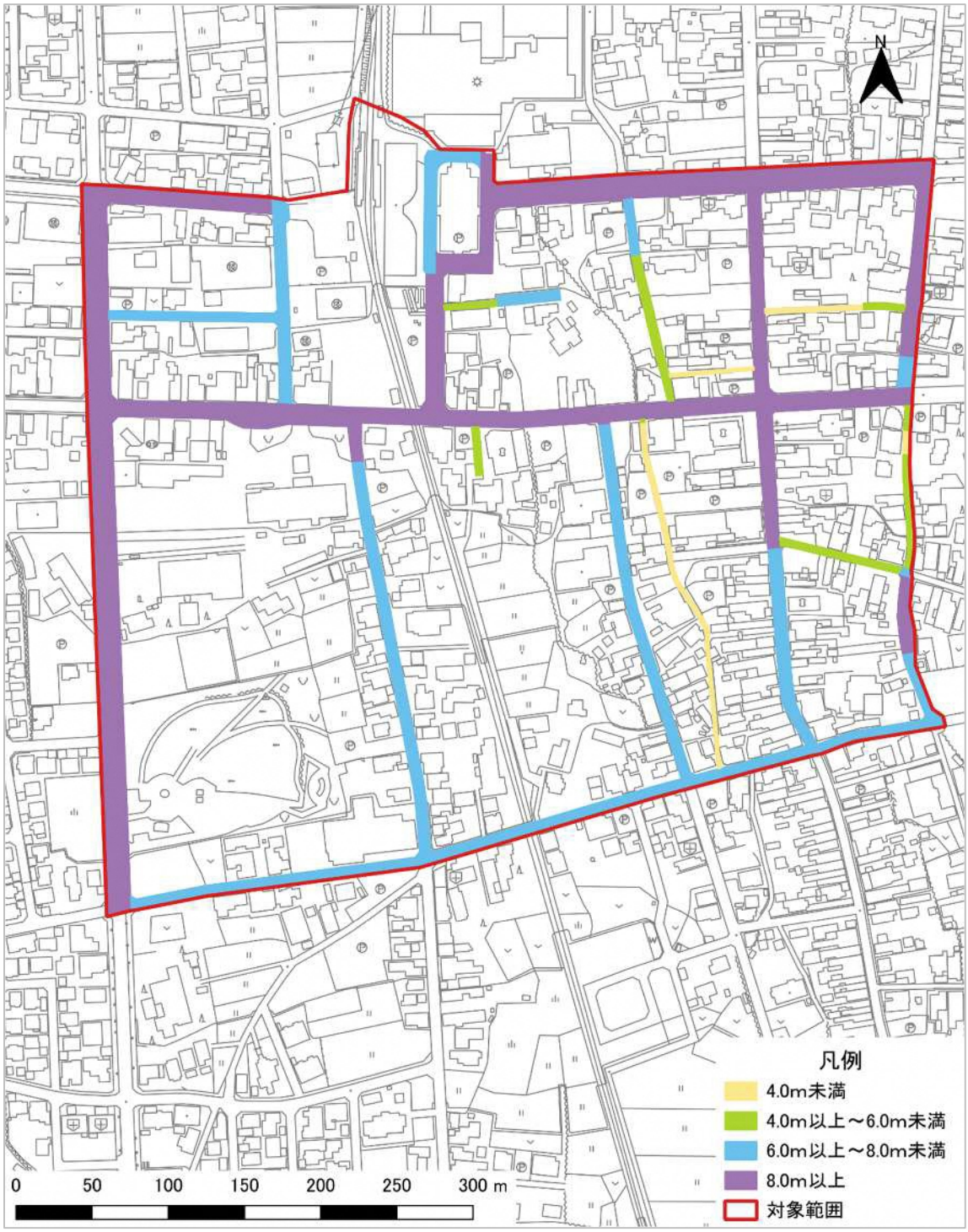
道路台帳等を基に整理した五百石駅周辺地区内の幅員別道路現況は以下のとおりであり、幅員6.0m 以上の道路が 80%以上となっていますが、一部、幅員 6.0m 未満の道路も見られます。

＜幅員別の道路延長＞

用　途	延長（m）	割　合	備　考
4.0m未満	370	8.4%	
4.0m以上～6.0m未満	360	8.1%	
6.0m以上～8.0m未満	1,690	38.1%	
8.0m以上	2,010	45.4%	
計	4,430	100.0%	

※延長、幅員は道路台帳によるデータ及び一部 GIS による計測値

＜幅員別道路現況図＞



［出典：立山町道路台帳、富山県 GIS サイト］

②公共交通の運行状況

五百石駅周辺地区周辺では、地鉄バスと町営バスが以下のとおり運行しています。

＜地鉄バス時刻表＞

【五百石駅前】

	平日			休日	
行先	一夜泊	富山駅前		富山駅前	
（経由）		（石金）	（大泉西部）	（石金）	（大泉西部）
5					
6			50		
7		00 35	20	35	15
8		15 55	40		10
9			50		05
10			50	45	
11			50		50
12			50	45	
13			50		50
14				45	
15	※55		05		50
16		30	05		50
17		30	00		50
18		30		45	
19			10		
20					
計	1	7	12	5	8
合計	20			13	

【五百石】

	平日
行先	五百石駅前
5	
6	
7	※36 ※52
8	※04
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
計	3

【立山町役場前】

	平日	休日
行先	五百石駅前	五百石駅前
5		
6		
7	10	57
8	13 21	48
9	12	49
10	12	
11	12	12 49
12	12	
13	12	12 49
14	12	
15	12 35	12
16	13	12 52
17	17	
18	17 53	12
19	50	10 59
20		
21	00	10
22		
計	17	14

※：学休日運休

※2：五百石の「一夜泊」行き、立山町役場前の「富山駅前」行きは省略（五百石駅前の富山駅前行きが「立山町役場前」を経由、一夜泊は「五百石」を経由）

［出典：富山地方鉄道 HP（令和6年10月1日）］

＜町営バス時刻表＞　※いずれも祝日及び 12/29～1/3 運休

【五百石駅発着】

■伊勢屋線　月～土運行

平日：月～金

五百石駅行き						停留所名		伊勢屋行き					
17:00	13:25	9:26	7:25		▼	伊勢屋	▲	9:17	13:20	15:02	16:24	18:27	19:57
⋮	⋮	⋮	⋮		▼	⋮	▲	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
17:07	13:32	9:33	7:32	6:24	▼	白岩	▲	9:08	13:11	14:53	16:15	18:18	19:48
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	▼	⋮	▲	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
17:34	13:59	10:00	7:59	6:51	▼	五百石駅	▲	8:40	12:43	14:25	15:47	17:50	19:20

土

五百石駅行き							停留所名		伊勢屋行き				
17:35	15:03	13:33	10:35	7:55		▼	伊勢屋	▲	10:30	13:22	14:58	17:24	19:32
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮		▼	⋮	▲	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
17:42	15:10	13:40	10:42	8:02	6:18	▼	白岩	▲	10:21	13:13	14:49	17:15	19:23
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	▼	⋮	▲	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
18:09	15:37	14:07	11:09	8:29	6:45	▼	五百石駅	▲	9:53	12:45	14:21	16:47	18:55

■吉峰線　月～金 及び 第①②④土運行（↓は土曜日運休）

五百石駅行き							停留所名		吉峰行き			
16:49	15:10	14:00	12:49	10:24		▼	吉峰	▲	10:16	11:58	13:55	16:42
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	↓	▼	⋮	▲	⋮	⋮	⋮	⋮
16:53	15:14	14:04	12:53	10:28	8:31	▼	上末	▲	10:10	11:52	13:49	16:36
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	▼	⋮	▲	⋮	⋮	⋮	⋮
17:18	15:39	14:29	13:18	10:53	8:56	▼	五百石駅	▲	9:46	11:28	13:25	16:12

【商工会館前経由】

■新川・下段線　月～金運行

吉峰行き（五百石駅経由）				停留所名		虫谷行き（五百石駅経由）			
14:58	12:25	9:10	▼	虫谷	▲		12:20	14:43	17:02
⋮	⋮	⋮	▼	⋮	▲		⋮	⋮	⋮
15:29	12:56	9:41	▼	五百石駅	▲	10:46（止）	11:49	14:12	16:31
15:31	12:58	9:43	▼	商工会館前	▲	10:44		14:10	16:29
⋮	⋮	⋮	▼	⋮	▲	⋮		⋮	⋮
15:55	13:22	10:07	▼	吉峰	▲	10:20		13:46	16:05

【役場西口経由】

■利田・大森線　月～金運行

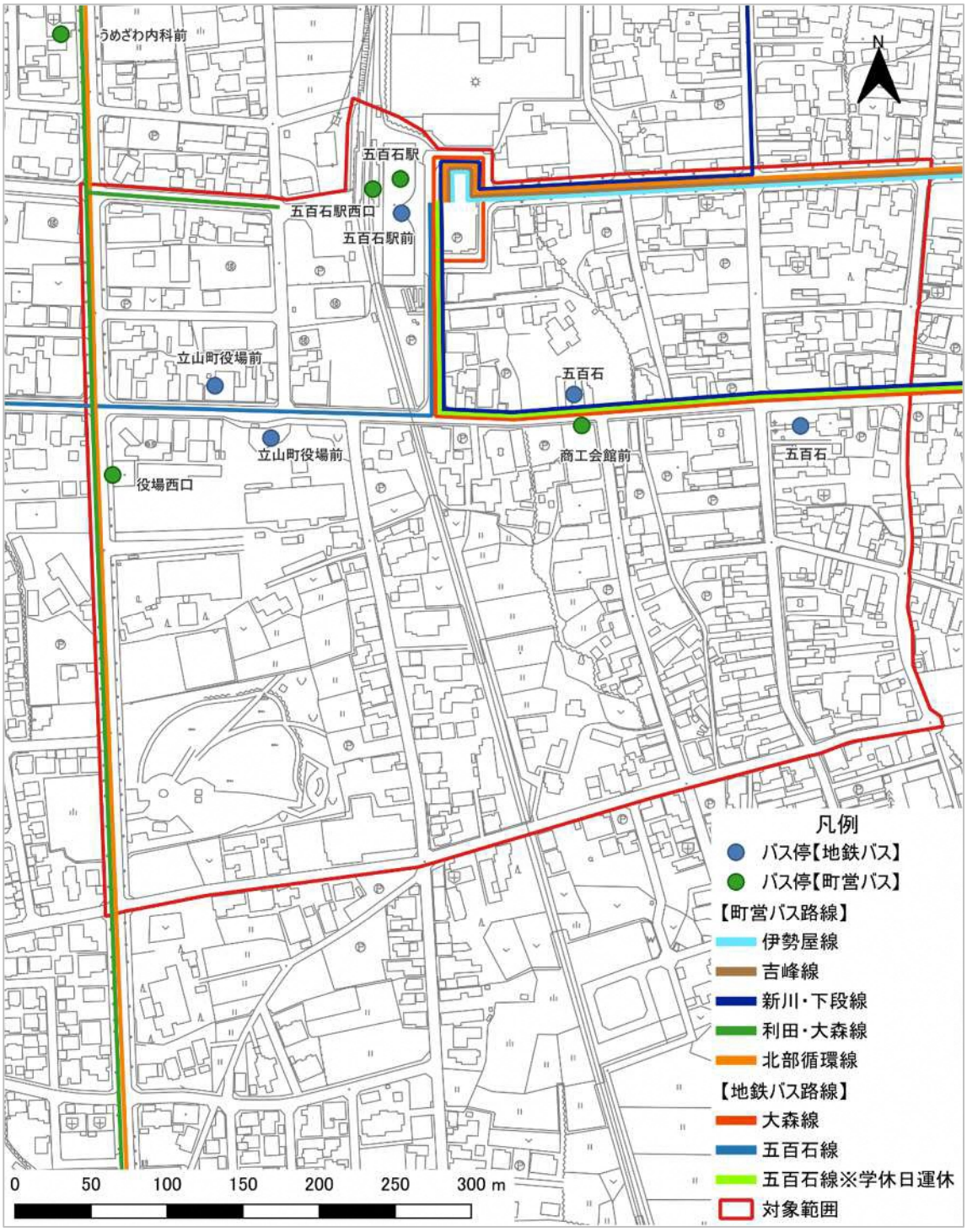
吉峰行き（五百石駅経由）						停留所名		塚越行き（五百石駅経由）				
17:16	15:00	12:40		8:30	▼	塚越	▲			12:39	14:57	17:14
⋮	⋮	⋮		⋮	▼	⋮	▲			⋮	⋮	⋮
17:35（止）	15:19	12:59	10:28	8:49	▼	五百石駅西口	▲	10:23（止）	11:23（止）	12:20	14:38	16:55
	15:20	13:00	10:29	8:50	▼	役場西口	▲	10:22	11:22		14:37	16:54
	⋮	⋮	⋮	⋮	▼	⋮	▲	⋮	⋮		⋮	⋮
	15:44	13:24	10:53（止）	9:14	▼	常願寺ハイツ	▲	9:58	10:58		14:13	16:30
	⋮	⋮		⋮	▼	⋮	▲	⋮			⋮	⋮
	16:02	13:42		9:32	▼	吉峰	▲	9:40			13:55	16:12

■北部循環線　月～金運行

五百石駅行き		停留所名		女川新行き
7:12	▼	女川新	▲	18:07
⋮	▼	⋮	▲	⋮
7:45	▼	役場西口	▲	17:34
⋮	▼	⋮	▲	⋮
7:54	▼	五百石駅	▲	17:28

［出典：立山町営バス時刻表（令和6年4月15日改正）］

＜バス路線現況図＞

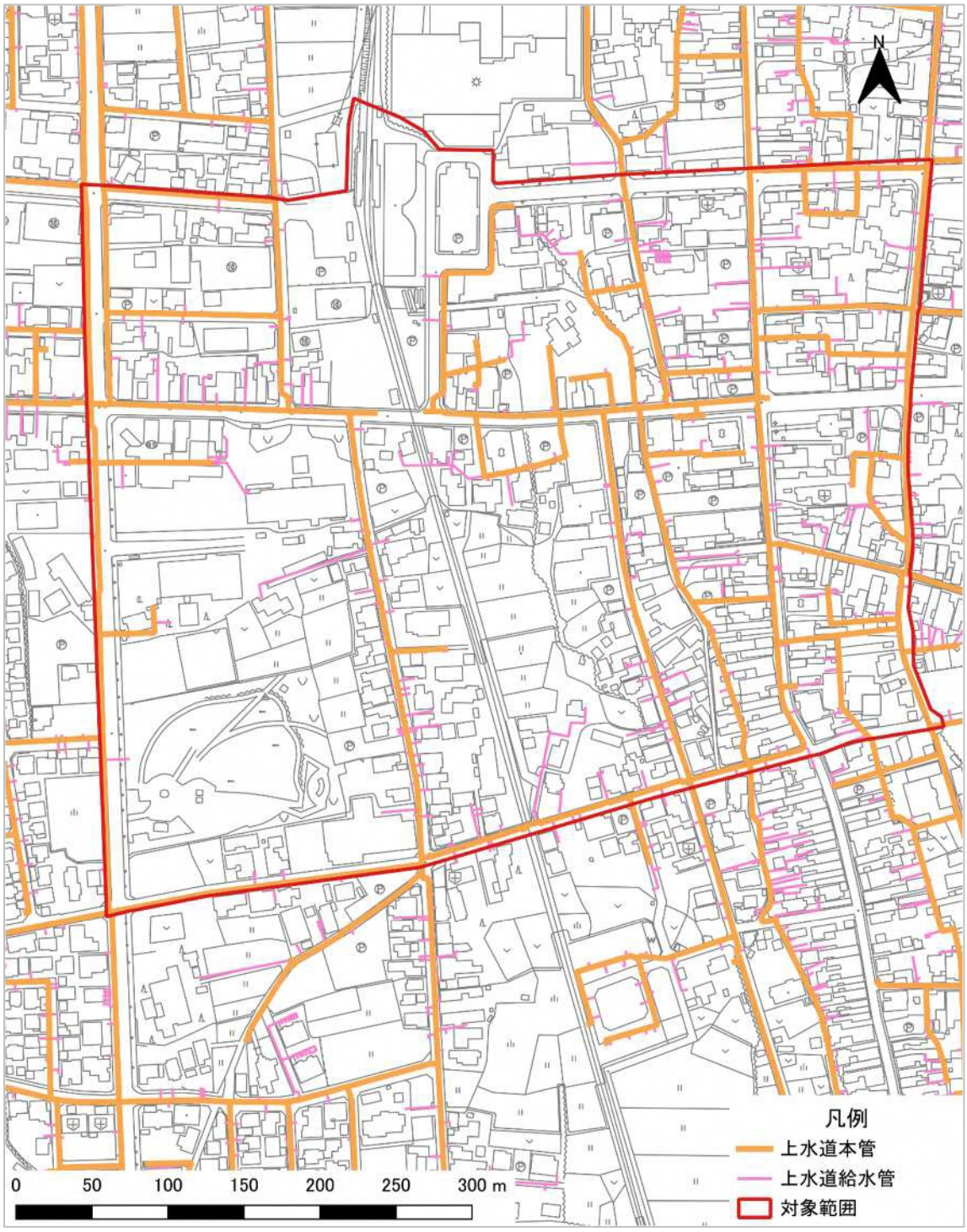


［出典：GTFS データ、立山町営バス路線図より一部修正］

③上水道整備状況

五百石駅周辺地区の上水道整備状況は以下のとおりであり、ほとんどの路線で整備済みとなっています。

＜上水道整備現況図＞



［出典：上水道網図］

④下水道整備状況

五百石駅周辺地区は立山町の汚水処理計画において公共下水道事業区域となっており、汚水下水道はほとんどの路線で整備済みとなっています。

なお、雨水は道路側溝及び水路により排水していますが、空き地及び空き家の集積エリア周辺で大雨時に冠水被害が発生しています。

＜大雨時の様子＞



＜汚水下水道整備現況図＞



［出典：下水道網図］

（5） 現五百石公民館の機能等

空き地及び空き家の集積エリアの南側には、道路を挟んで五百石公民館が立地しています。五百石地区の住民が利用できるホールや会議室等が設けられていますが、ほとんど利用されていない部屋も見られます。また、整備から 40 年以上が経過し、老朽化が課題となっています。

本施設の 1 階には商工会議所の事務所も併設されています。

＜五百石公民館の機能等＞



	公民館機能	商工会機能
3階	・第4研修室（17回） ・和室（1回）	―
2階	・公民館事務室 ・ホール（188回） ・談話室（0回）	―
1階	・第1研修室（183回）	・商工会議所

※（）内は令和5年度使用状況（午前・午後・夜間で使用可能）

（6） まちなかファームについて

空き地及び空き家の集積エリアおよび五百石公民館の東側のエリアでは、2018年4月に立山町の魅力の発信拠点、幅広い世代の交流拠点として「まちなかファーム」を開設しましたが、2024年12月に発生した五百石地内の火災の延焼により、全焼しました。

立山町ゆかりのパンショップやコーヒーショップ、町特産品の販売所、Wi-Fi を無料で使用できるコワーキングスペースなどが整備されていました。

＜まちなかファーム跡地＞



＜当時の様子＞



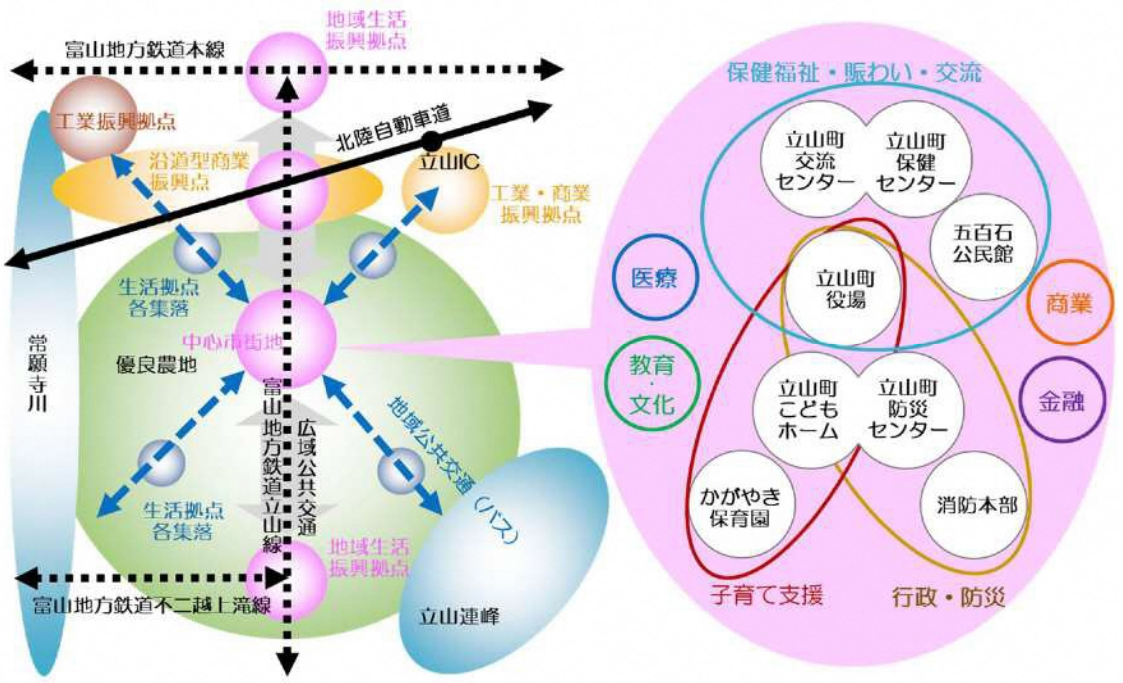
2. 地区の位置づけ

（1） 立地適正化計画

立地適正化計画では、五百石駅周辺を中心市街地及び都市機能誘導区域に位置づけ、行政機関、保健福祉施設、子育て支援施設、教育・文化施設、医療機関、商業施設、金融機関など生活に必要不可欠な施設を集約するとともに、交流施設や公益施設など賑わいの拠点となる施設を誘導することとしています。

また、計画の推進にあたっては、様々な関係者と緊密に連携して協働で取り組む共創により、持続可能なまちづくりを実現していくこととしています。

＜目指すべき都市の骨格構造概念図＞



［出典：立山町立地適正化計画］

＜計画の推進体制＞



［出典：立山町立地適正化計画］

3. 町民の意見

（1） 五百石のまちなかの未来を考える座談会結果（令和6年11月）

本座談会では、五百石のまちなかの未来を考えるため、五百石駅周辺地区の魅力・問題点や今後のまちづくりの方向性等について意見交換を行いました。

＜参加者の方から出された主な意見＞

分類	地区の良いところ・魅力	地区の悪いところ・問題点
施設	【施設集積】 ・役場、銀行、郵便局、駅が集積している ・幼稚・保育園、小学校、中学校、高校が集積している ・みらいぶやアカリエなど、子どもの遊び場となる場所がある	【施設不足】 ・スーパーや生活用品店がなくなった ・中高生が集まる場所がない ・飲食店や銭湯など施設が不足している ・宿泊施設がない ・駐車場が少ない、狭い
環境	【地域コミュニティ】 ・子どもと地域の距離が近い ・人付き合いが良く、近所の関係が良好 【地域資源】 ・商店街があり、「商売」のやり方を知っている ・天満宮がある ・立山の眺望が素晴らしい 【伝統】 ・立山まつり、市姫神社春季祭礼がある	【安全性の欠如】 ・道がせまい ・夜になると街が暗い 【活気不足】 ・空き店舗、空き家、空き地が増え、閑散としている ・居住者が少ない、若者がいない 【交通の利便性】 ・電車やバスの本数が少ない ・定期的にスーパーに送ってくれるバスがなくなった

分類	望ましいまちづくりの方向性	
施設	【新規施設の整備】 ・地域の人も利用できる施設が複合した宿泊施設を整備する ・スーパーや買い物ができるお店を整備する ・立山の眺望を活かしたカフェや大浴場を整備する ・若い家族が利用できる飲食店や、横丁のような飲食店を整備する ・五百石駅周辺にお店、広場を整備する	【空き地・空き家の活用】 ・空き地を活用した野菜の直売所を整備する ・空き家への居住者を誘致する（シェアハウス、子育て世代優遇住居） ・既存の駐車場、空き地を有効活用する
環境	【子ども・若者の環境づくり】 ・子どもが講演や演奏会など、活動できる場所を整備する ・未来に希望がもてる専門科がある学校を整備する ・子育てしやすい環境づくり（支援等も含む） 【居住促進】 ・移住専用の行政窓口の設置 ・若い世代に土地を安く譲渡	【地域コミュニティの充実】 ・子どもも大人も楽しそうな明るいまち ・防災時に助け合えるよう地域住民との交流を増やす ・高齢者が活発に活動できるまち
その他	【来訪者に対するPR】 ・立山観光をする人が訪れるまちにする ・五百石駅に降りたくなる要素をつくる	【話し合いの継続】 ・役場の考えを把握して、まちづくりに協力する ・まちづくりについて話し合う機会、場の創出 ・班長や小学校のPTA等からの意見聴取







Ⅱ章　まちづくりの主要課題

地区の概況や地区の位置づけ、町民の意見等を踏まえ、以下のとおりまちづくりの主要課題を整理します。

課題❶　地域活力の衰退への対応

人口・若年層の減少、高齢化、空き地・空き家の増加等、駅周辺の活力が衰退しつつある中で、町の中心地として、町民の暮らしやすさや利便性の向上が求められています。また、既存の施設集積も生かしながら、町民が滞在・交流・活動できる場の創出など、地域活力の創出が求められています。

課題❷　来街者の快適性の向上

宿泊施設、立山の眺望を生かしたカフェ、浴場等の新たな施設整備や周辺エリアの魅力向上等、観光客や訪問者が快適に過ごせる環境づくりが求められています。また、町の魅力を効果的に PR すること等により、特に若者を中心とした移住者を確保していくことが求められています。

課題❸　地域資源の保全・活用

本地区では、地域の商店街や天満宮、立山の眺望や地域行事などの“立山町らしさ”を彩る地域資源が魅力と感じられています。まちづくりにあたっても、立山の魅力を引き立てる地域資源を保全・活用した景観形成等が求められています。

課題❹　安心・安全な都市基盤の確保

町民の意見として、道路の狭さや暗さが問題点として挙げられています。また、雨天時には冠水被害が発生しており、町のインフラ整備が急務となっています。これらの整備により、子どもから高齢者まで、誰もが安心して安全に暮らせる都市基盤の確保が求められています。

課題❺　共創によるまちづくりの推進

現代社会において、持続可能なまちづくりを実現するためには、公共だけでなく、企業、地域住民、NPO など多様な主体との連携が不可欠です。立山町の上位関連計画においても、官民連携を中心とした様々な関係者との共創による、持続可能なまちづくりが掲げられており、その推進が求められています。

Ⅲ章　五百石駅周辺地区の将来像

＜コンセプト＞

住み良さとにぎわいが感じられる
誰もが過ごしやすいまち

五百石駅周辺地区は、本町の中心市街地として都市機能が集積しており、また地域資源が豊かであり、良好な地域コミュニティが形成されています。一方で、人口減少や少子高齢化の進行に加えて、空き店舗、空き家、空き地の増加等により、地域の活力の低下が懸念されています。

そのため、地区の中心部に位置する未利用地を活用し、立地適正化計画に定める誘導施設の誘致等を行い、地域住民の住み良さを確保します。また、既存施設の活用や新たな交流拠点の整備等を通じて、地域住民だけでなく立山町を訪れる人々も含めたあらゆる人々が憩い、交流し、にぎわう環境を創出することにより、誰もが過ごしやすいまちづくりを進めます。

また、将来像の実現に向けた、まちづくりの基本的な考え方を以下のとおりとします。

＜まちづくりの基本的な考え方＞

1　生活を支え活力を生み出す機能の誘導

2　多世代の町民や来訪者の交流の拠点づくり

3　立山町の魅力を生かした環境づくり

4　安心・安全に移動できる交通インフラの整備

5　民間の力を活用した持続可能なまちづくり

Ⅳ章　整備方針

まちづくりの基本的な考え方を踏まえ、将来像を実現するための五百石駅周辺施設の整備方針を以下に示します。

【■ソフト施策】【■ハード整備】

1　生活を支え活力を生み出す機能の誘導

地域に不足している機能の誘導

■空き地・未利用地等の活用
■皮膚科、産婦人科、歯科など町内で需要が高い診療施設の立地誘導
■キッチンカーや屋台、移動販売などの営業スペースの整備による不足機能の補完
■地域住民がチャレンジショップやマルシェなどに挑戦できる場づくり

地域住民が日常利用できる活動拠点の形成

■地域住民が教室・イベントの開催や活動の発表ができる場づくり
■誰もが気軽にホールや会議室として使える環境の整備

イベント実施等によるにぎわい創出

■立ち寄りたくなる物産展や企画展、ポップアップストア誘致等の取組
■飲食イベントや体験イベント、パブリックビューイングなど町民全員で楽しめるイベントの開催

2　多世代の町民や来訪者の交流の拠点づくり

多世代が集う休憩スペースの整備

■気軽に立ち寄り、自由に過ごすことができる休憩スペースの整備
■滞在を促進するカフェ機能の導入検討
■あらゆる世代、人々が集い、新しい出会いや交流を楽しめる仕掛けづくり

玄関口としての機能充実

■みらいぶと連動し、来街者や移住者が立山町の魅力や暮らし、立山町ならではの体験等を知り、出かけていくことができる玄関口づくり
■移住希望者や移住者が必要な情報にアクセスでき、定住を促進する機能充実

来街者の滞在を促進する施設整備

■来街者が滞在するための宿泊施設の整備
■来街者が立山町への滞在に魅力を感じ、地元住民との交流も楽しめる浴場等の整備

3　立山町の魅力を生かした環境づくり

美しい景観を生かした仕掛けづくり

■観光客や来街者が美しい立山連峰を眺められるスポットの整備

周辺の街並みと調和した施設整備

■立山町の魅力、伝統・文化を感じられる、景観に配慮した建物デザインによる施設整備

4　安心・安全に移動できる交通インフラの整備

快適に歩いて移動できる道路環境の整備

■歩道の拡幅や道路照明・防犯カメラの設置等による安全で質の高い道路リニューアルの推進
■行き止まり道路の解消による回遊性の向上に向けた道路整備
■水路改修等の浸水対策による、快適に歩ける歩行空間の整備

地域社会を支える公共交通サービスの確保

■天候を気にせず利用できる快適なバス待ちスペースの整備
■都市機能へのアクセス向上、来街者の利便性向上、公共交通の利用促進につながる公共交通サービスのあり方の検討

5　民間の力を活用した持続可能なまちづくり

民間事業者の力を活用した施設整備・運営

■民間事業者の力を活用した施設整備の誘導
■民間運営による効果的な施設運営の可能性検討

地域住民の活動促進

■地域住民の活動促進による地域活力の増大、持続可能なまちづくりの実現
■施設運営に高齢者等が関わることによる地域貢献の機会や生きがいの創出

【五百石駅周辺施設整備基本構想】

＜まちづくりの主要課題＞

課題❶ 地域活力の衰退への対応
課題❷ 来街者の快適性の向上
課題❸ 地域資源の保全・活用
課題❹ 安心・安全な都市基盤の確保
課題❺ 共創によるまちづくりの推進

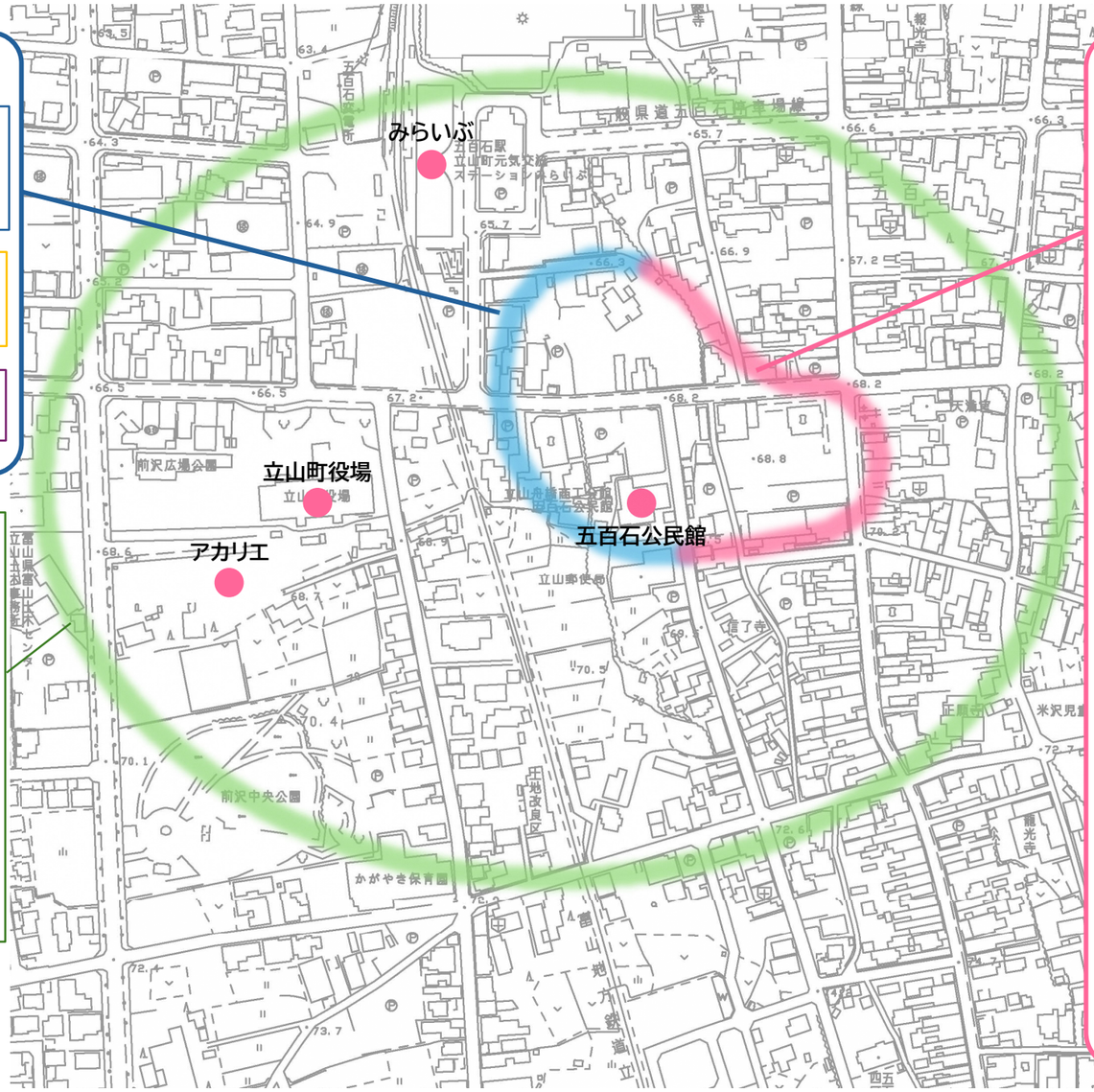
＜将来像＞

住み良さとにぎわいが感じられる 誰もが過ごしやすいまち

＜まちづくりの基本的な考え方＞

1 生活を支え活力を生み出す機能の誘導
2 多世代の町民や来訪者の交流の拠点づくり
3 立山町の魅力を生かした環境づくり
4 安心・安全に移動できる交通インフラの整備
5 民間の力を活用した持続可能なまちづくり

＜整備方針図＞



来街者滞在施設

来街者の滞在を促進する施設整備
■来街者が滞在するための宿泊施設の整備
■来街者が立山町への滞在に魅力を感じ、地元住民との交流も楽しめる浴場等の整備

美しい景観を生かした仕掛けづくり
■観光客や来街者が美しい立山連峰を眺められるスポットの整備

民間事業者の力を活用した施設整備・運営
■民間事業者の力を活用した施設整備の誘導

快適に歩いて移動できる道路環境の整備
■歩道の拡幅や道路照明・防犯カメラの設置等による安全で質の高い道路リニューアルの推進
■行き止まり道路の解消による回遊性の向上に向けた道路整備
■水路改修等の浸水対策による、快適に歩ける歩行空間の整備

地域社会を支える公共交通サービスの確保
■都市機能へのアクセス向上、来街者の利便性向上、公共交通の利用促進につながる公共交通サービスのあり方の検討

地域社会を支える公共交通サービスの確保
■天候を気にせず利用できる快適なバス待ちスペースの整備

■ハード整備
■ソフト施策

地域交流施設

地域に不足している機能の誘導
■空き地・未利用地等の活用
■皮膚科、産婦人科、歯科など町内で需要が高い診療施設の立地誘導
■キッチンカーや屋台、移動販売などの営業スペースの整備による不足機能の補完
■地域住民がチャレンジショップやマルシェなどに挑戦できる場づくり

地域住民が日常利用できる活動拠点の形成
■地域住民が教室・イベントの開催や活動の発表ができる場づくり
■誰もが気軽にホールや会議室として使える環境の整備

イベント実施等によるにぎわい創出
■立ち寄りたくなる物産展や企画展、ポップアップストア誘致等の取組
■飲食イベントや体験イベント、パブリックビューイングなど町民全員で楽しめるイベントの開催

多世代が集う休憩スペースの整備
■気軽に立ち寄り、自由に過ごすことができる休憩スペースの整備
■滞在を促進するカフェ機能の導入検討
■あらゆる世代、人々が集い、新しい出会いや交流を楽しめる仕掛けづくり

玄関口としての機能充実
■みらいぶと連動し、来街者や移住者が立山町の魅力や暮らし、立山町ならではの体験等を知り、出かけていくことができる玄関口づくり
■移住希望者や移住者が必要な情報にアクセスでき、定住を促進する機能充実

周辺の街並みと調和した施設整備
■立山町の魅力、伝統・文化を感じられる、景観に配慮した建物デザインによる施設整備

民間事業者の力を活用した施設整備・運営
■民間運営による効果的な施設運営の可能性検討

地域住民の活動促進
■地域住民の活動促進による地域活力の増大、持続可能なまちづくりの実現
■施設運営に高齢者等が関わることによる地域貢献の機会や生きがいの創出